

1月4日(金曜日)

(第679号)

平成31年(2019年)

全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL <http://www.zenmoku.jp>

謹賀新年

静岡県富士山世界遺産センターから望む富士山
[3D加工した富士ヒノキの木格子]

新年ご挨拶

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 鈴木和雄



新年おめでとうございます。旧年中は、本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年は、林野庁が創設された「新たな森林管理システム」と「森林環境譲与税の配分」がともに4月からスタートするという画期的な年です。

「意欲と能力のある林業経営者等」を主体とする森林管理システムの着実な実行に期待するとともに、日本の森林を守る上でこうした山側の対策と同じくらい重要な課題である国産材の需要創出にとっても飛躍の年となることを期待しています。

特に、我々木材産業関係者にとつては、森林環境譲与税の使途に木材利用促進が位置付けられ、これまであまり木材が使われてこなかった都市部等での木材利用拡大へのチャンスが巡ってきているものと考えているところです。

すでに3時間耐火部材も大臣認定を受けており、木造での超高層ビル実現も夢ではありません。佐賀や仙台での例のように、柱や床などの木質化による中高層ビルの木造化の例も出てきており、木材利用の促進に対しての理解が急速に広まっています。

また、東京都の小池知事が提唱し、全国知事会に創設された「国産木材利用促進PT」では、都市が木材利用の促進に取組むことで地方の森林を助けていくという新しい枠組みが取り上げられており45の都道府県が参画しています。

元々、森林資源は我が国唯一の再生可能な循環資源であり、適時に伐って使うことが

森林の活力を生かすことに繋がります。

中高層ビルに木材を使うことにより大都市がCO₂を固定する環境都市に生まれ変わり、林業が成長産業化することで地方創生や雇用拡大が図られ、さらに森林資源も充実します。まさに都市での木材活用は「SDGs」の模範的なモデルにもなり得ると確信しています。

戦後に建てられた都会の多くの建物が建て替え時期を迎えており、味気ないRC造やS造の建物をもう一度建築するのでなく、環境に優しい木造や木質化された建物にしていくことが「当たり前」になる時代が来ていると考えています。

今年が猪年です。こうした森林・林業・木材産業に吹く追い風をつかみ、本年を「都市木造化元年」とすべく、全森連始め広く林業関係団体とも力を合わせて、全木連の総力を挙げて努めていくこととしたいと考えています。

皆様方のご支援、ご協力を是非お願い申し上げます。本年が森林・林業・木材産業並びに皆様方にとって、素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

木材利用推進PRカレンダーの発行！

我が国の森林資源が充実してきており、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用を進めながら森林の活性化を図っていくことの重要性が認識され始めていますが、循環利用のサイクルを確立するためには、これまであまり木材が使われていなかった住宅以外の建築物の木材利用が重要と考えています。

こうした中、都市部を含む地域での木造施設の建設や木質化への取組が、全国各地で数多くみられるようになり、二酸化炭素を固定し地球温暖化防止に貢献するとともに、地方創生にも大きな役割を果たしているところです。

今回、木材のぬくもりの空間を提供するこうした木造施設の素晴らしさを更に多くの方々に知っていただくためカレンダーを作成したところであり、2020年カレンダーについては、本年9月ご

るよりお申込み受付を行う予定となっています。

お取引先等への年末年始のご挨拶はもちろん、年間を通じての貴社のPRに加え、木材利用の一層の普及・宣伝のため、ぜひ、ご利用下さい。



第五十四回全国木材産業振興大会

平成三十一年十一月六日（水）
高知市で開催

☆木材利用促進のため、大勢の参加で大会を盛り上げよう！

年頭のご挨拶

全国木材協同組合連合会

会長 松原正和



新年おめでとうございます。輝かしい新年の年頭に当たり一言ごあいさつ申し上げます。皆様方には本会の業務運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は前代未聞とも言えるような大災害が頻発し、多くの犠牲者や被災者を生みました。ご冥福をお祈りするとともにお見舞いを申し上げる次第です。

さて、今、日本の森林・林業・木材産業は大変大きな節目を迎えており、戦後造成された人工林資源が成熟期を迎え、木材としての利活用が本格化してきたことに加え、地

球温暖化防止や地方創生における森林の役割が大いに注目され、都市での木材利用の拡大へ向けた動き等が着実に大きくなってきています。

このことは我々木材業界にとつて、大きなチャンスとなるものと考えますが、一方で、戸建て住宅需要の減少、建築費等のコストの上昇等、厳しい経営環境も見通されることから、今まで以上に会員相互間、他業種の方々との連携・協調が重要になってくると考えています。

一方、都市部での木材利用、とりわけ国産材を活用した中高層ビルの建設などが広まっ ていき、都市の建築物でも木造・木質化が当たり前のこと となつてくる時代が期待でき るような条件が急速に出来上 がりつつあると感じています。 このような期待を現実のもの とする方策の一つとして、

我々木材産業界と消費者をつなぐ設計士や建築技術者の木材利用への関心をより一層高めていくことが有効であると考へており、その結果として品質の確かな木材製品の安定供給体制の確立へのニーズが高まり、それが山元の供給体制の強化・充実に繋がつていけば、真の意味での林業の成長産業化、地方創生といった命題の解決策への糸口が見えてくるのではないかと考える次第です。

私も全国木材協同組合連合会としては、こうした課題にこたへるため、木材利用促進のための利子助成やリースに対する支援、共同事業・共済事業を推進しております。本年におきまして、これらを通じ供給体制の整備などに取組んでいくこととしておりますので、引続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が木材産業界並びに皆様方にとって、明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

今年度から内閣総理大臣賞を創設

(木材利用優良施設コンクール表彰)

木材利用推進中央協議会は木材の需要拡大のため、平成5年から「木材利用優良施設コンクール」を開催し、優良な木造化・木質化施設を表彰してきたが、木材の素晴らしさや最新の木材利用技術を、より多くの方々に知っていただくため、今年度から新たに「内閣総理大臣賞」が創設された。

これを受けて、応募施設数は約150件で例年の1.5倍になり、地域材を使った部材を駆使し、木材のぬくもりを活かすなどした素晴らしい施設が多数集まった。受賞施設は下記のとおりであり、平成30年11月28日に木材会館(東京都江東区)にて表彰式が盛大に開催された。

受賞施設

【内閣総理大臣賞(1点)】

○江東区立有明西学園(東京都江東区)

【農林水産大臣賞(1点)】

○宿毛商銀信用組合新店舗(高知県宿毛市)

【林野庁長官賞(3点)】

○竹中研修所「匠」新館(兵庫県川西市)

○大槌町文化交流センター「おしゃっち」(岩手県大槌町)

○朝日村役場(長野県朝日村)

【木材利用推進中央協議会会長賞(4点)】

○福島県管復興公営住宅磐崎団地(福島県いわき市)

○八戸市立西白山台小学校(青森県八戸市)

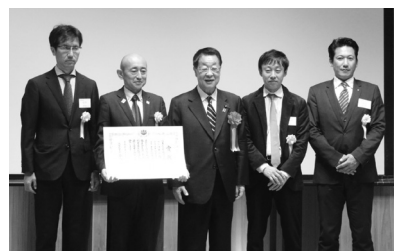
○熊本県立熊本かがやきの森支援学校(熊本県熊本市)

○認定こども園さざなみの森 吹の棟(広島県東広島市)

【審査委員会特別賞(2点)】

○都城市立図書館(宮崎県都城市)

○松尾建設株式会社本店ビル(佐賀県佐賀市)



内閣総理大臣賞
中央・吉川農林水産大臣



挨拶する秋元環境副大臣

三月

森林・林業懇話会
(自民党国会議員を囲んで)



平成 30 年 重大ニュース

二月

第 45 回 J A S 製材品普及
推進展示会表彰式
(受賞者代表謝辞)



四月

共に行動する
企業認定証授与式
(本年は、16社を認定)



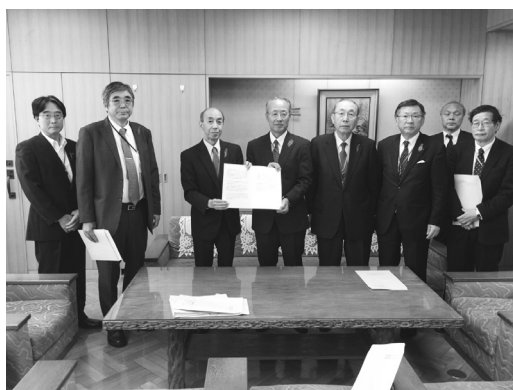
林業懇話会

(公明党国会議員との懇談会)



五月

沖林野庁長官へ陳情
(6団体による
木材利用促進法創設の要請)



六月

J A S 構造材説明会
(全国各地で開催)



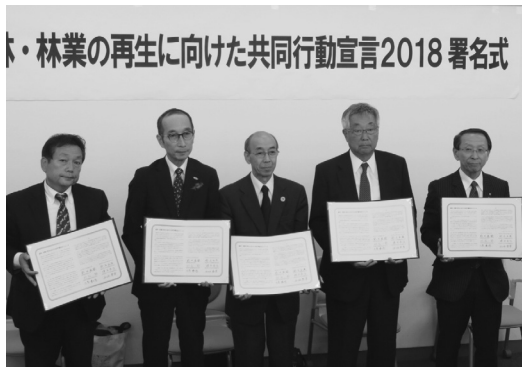
八月

森林・林業・
木材産業施策説明会
(林野庁長官はじめ
幹部との意見交換)



十月

森林・林業の再生に向けた
共同行動宣言
2018署名式



吉川農林水産大臣表敬



第53回
全国木材産業振興大会
（広島国際会議場）



十一月

政令指定都市木材利用
促進議員連盟勉強会
（相模原市で開催）



自民党林政対策委員会ヒアリング
（国有林の木材供給対策について
発言する鈴木会長）



十二月

自民党農林・食料戦略調査会
農林部会合同会議
について発言する島田副会長
（外国人材受け入れ制度）



クリーンウッド法
登録推進全国協議会



自民党農林・食料戦略調査会
農林部会・農政推進協議会
合同会議
（吉川大臣に予算のお礼を述べる
松原全木協連会長）



景況調査

平成30年11月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

当月の状況

モニター数138 回答数79 回収率57%

販売量	増加34%(27)	変わらず62%(49)	減少4%(3)
仕入量	増加37%(29)	変わらず54%(43)	減少9%(7)
販売価格	上昇19%(15)	変わらず80%(63)	下降1%(1)
仕入価格	上昇30%(24)	変わらず68%(54)	下降1%(1)

来月の見通し

販売量	増加25%(20)	変わらず62%(49)	減少13%(10)
仕入量	増加25%(20)	変わらず59%(47)	減少15%(12)
販売価格	強含み9%(7)	保ち合い91%(72)	弱含み0%(0)
仕入価格	強含み16%(13)	保ち合い81%(64)	弱含み3%(2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	24%(15)	70%(44)	6%(4)
南洋材	28%(16)	71%(41)	2%(1)
北洋材(欧州材を含む)	25%(14)	73%(41)	2%(1)
国産材	22%(17)	76%(58)	1%(1)
建 材	29%(18)	69%(43)	2%(1)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	33%(20)	52%(31)	15%(9)

〔製造部門〕

当月の状況

モニター数144 回答数88 回収率61%

販売量	増加38%(33)	変わらず49%(43)	減少14%(12)
仕入量	増加39%(34)	変わらず52%(46)	減少9%(8)
販売価格	上昇9%(8)	変わらず89%(78)	下降2%(2)
仕入価格	上昇28%(25)	変わらず65%(57)	下降7%(6)

来月の見通し

販売量	増加26%(23)	変わらず57%(50)	減少17%(15)
仕入量	増加24%(21)	変わらず59%(52)	減少17%(15)
販売価格	強含み6%(5)	保ち合い93%(82)	弱含み1%(1)
仕入価格	強含み14%(12)	保ち合い80%(70)	弱含み7%(6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	27%(7)	58%(15)	15%(4)
南洋材	33%(6)	61%(11)	6%(1)
北洋材(欧州材を含む)	9%(2)	74%(17)	17%(4)
国産材	24%(20)	64%(54)	12%(10)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	41%(13)	47%(15)	13%(4)

企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで40年
中型グループ

ケガ・病入入院
などの備えに

従業員のために中型グループ

総合賠償補償制度

第三者への事故対策に

経営者のために総合保障プラン

任意労災保障制度

労働災害への対策に

木退共

従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215 (代)



全木連は、国産材を活用し
日本の森林を守る運動に
取り組んでいます。

<http://www.kokusanzaikatuyo.jp/>

第10回新たな「木材利用」事例発表会

日時：平成31年2月12日(火) 13時30分～16時30分
場所：木材会館7階ホール
(江東区新木場1-18-8)

主催：(一社)全国木材組合連合会

後援：林野庁、国土交通省、
木材利用推進中央協議会

(公財)日本住宅・木材技術センター、
林野庁、国土交通省、

定員：200名
(一財)日本木材総合情報センター

(一般消費者、建築・設計、木材関係者等)

林業・木材産業の皆様の融資を支援いたします。

当基金は、法律により国や都道府県の出資をもとに設立された公的機関で、昭和38年の林業信用保証制度の創設以来、多くの皆様にご利用いただいております。

「銀行から融資を受けたいけれど・・・」とお考えの林業・木材産業の経営者の皆様、もしも返済できなくなった場合に当基金が返済を肩代わりする債務保証を利用すれば、融資が受けやすくなります。

- 事業に必要な資機材の購入、人件費や燃料費の支払
 - 災害等で事業に入れられない期間の掛かり増し経費
 - 事業規模の拡大
- などで一時的な資金が必要な方にもご利用いただけます。



まずはお近くの銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、当基金の窓口へお気軽にご相談ください。



独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コ-パビル11階)
TEL:03(3294)5585～5586 FAX:03(3294)5595
URL:<http://www.jaffic.go.jp>